

令和2年度教職員互助会モニター意見等の概要について

1 意見聴取期間 令和2年9月1日～令和2年10月1日

2 意見聴取内容 教職員互助会事業について

モニターの皆様からいただいたご意見等は、会員の福利厚生の上に役立てるよう、今後の事業の参考にさせていただきます。意見等及び現行制度の説明等は以下のとおりです。

意見等	現行制度の説明等															
<p>【1 厚生事業について】 施設利用の補助について ・美術館や公共施設等にそう何度もいけるわけではないので、補助券の枚数を減らしてもよいので、一回当たりの補助額を大きくしてほしい。</p> <p>・のとじま水族館等、以前の補助額と比べて少なくなっているため、利用機会が減っているという声が多い。自分自身も足が遠のいているので、可能な限り補助額を高く設定するとよいのではないか。</p> <p>・のとじま水族館の補助額は、大人300円となっているが入園料は1,890円と高く、補助があっても一人1,590円かかる。家族で行くとすると、1,590円×2人(父母)で3,180円の出費となり高額なため、近くに住んでいても行ったことのない人が多く、補助券も使っている人は少ない。負担額が500円ぐらいだと助かります。映画も同様でフォーラスができたことで、能登から中高生がよく行くので大人子ども共負担額を500円以内にしてほしいです。</p> <p>・枚数を減らし、補助額を多くしてほしい。スキーリフト券が施設利用と別になっているが、スキーリフト券を使う人が限られているので、施設利用の中に入れてほしい。(限られた人が皆の券を集めて使用している)</p> <p>・よく利用されている施設の補助金を増やすなど軽重をつけてはいけないのか。</p> <p>・施設利用つづりに「健民海浜公園プール」があり、ありがたかったです。(例年はプレミアムパスポートがあれば子どもは無料になるのだが、今年はコロナウイルスの影響で、ブレパスでは無料にならなかった)</p> <p>・いつも施設利用券ぐらいしか利用していませんでしたが、モニターとなって資料をみると、色々な事業があることに驚きました。他にも利用できるものがあり、利用していこうと思います。知らないことは損をするということですね。</p> <p>・施設利用券を利用している人は少ないのではないのでしょうか。特に今年はずっとない気がします。</p> <p>・施設利用つづりにキャンプサイトの利用券が追加されると嬉しいです。</p>	<p>施設利用補助については、様々なご意見をいただいたため、これまでの見直しの経緯を含めてご説明します。</p> <p>財政状況の悪化から、平成25年度に厚生事業の見直しを行い、平成26年度に施設利用の補助額の削減を実施しましたが、平成30年度には財政状況に改善が見られたため、令和元年度から、子育て支援策の強化として、美術館や水族館、昆虫館の中人及び小人の無料化を実施しました。なお、実施にあたっては、会員のニーズにあった効率的かつ効果的な事業となるよう、まずは会員へアンケート調査を行ったうえで、検討委員会で委員の意見をいただきました。</p> <p>施設利用券については、できるだけ多くの会員が利用できるような幅広い年齢層、多種多様なニーズがあることから、ある程度の種類・区分としています。(※1)</p> <p>財源にも限りがあることから施設全体の均衡、会員への公平性も考慮して補助額を設定しています。</p> <p>今後も定期的な見直しを実施していくこととしています。</p> <p>映画鑑賞券の斡旋は、施設が発行する鑑賞券を斡旋する互助会の支出を伴わない事業として導入したため、現制度では、当会で価格設定ができないものです。</p> <p>なお、施設利用券の譲渡については、公平性の観点から、施設利用券にも記載のとおり、他人への譲渡は、認めていません。</p> <p>今年度9月末現在の利用実績は次のとおりです。 施設利用券の利用実績(各年度9月末現在)</p> <table border="1" data-bbox="842 1397 1390 1518"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>会員数</th> <th>利用件数</th> <th>利用実人数</th> <th>一人当たりの枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年度</td> <td>9,880人</td> <td>3,392件</td> <td>1,119人</td> <td>3.03枚</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>9,189人</td> <td>4,338件</td> <td>1,518人</td> <td>2.86枚</td> </tr> </tbody> </table> <p>前年度に比べて、利用件数、利用実人数は減少しているものの、一人当たりの利用枚数は若干増えています。</p> <p>利用件数の減は、新型コロナウイルス感染拡大防止による施設の休業により、施設利用券の配付が6月になったことが大きな要因ですが、7月利用については、のとじま水族館、いしかわ動物園、ふれあい昆虫館で前年度より増えるなどの傾向もありますので、今後の動向に注視していきます。</p> <p>キャンプサイトについては、「3 新規事業について」の(※3)を参照ください。</p>	区分	会員数	利用件数	利用実人数	一人当たりの枚数	R2年度	9,880人	3,392件	1,119人	3.03枚	R1年度	9,189人	4,338件	1,518人	2.86枚
区分	会員数	利用件数	利用実人数	一人当たりの枚数												
R2年度	9,880人	3,392件	1,119人	3.03枚												
R1年度	9,189人	4,338件	1,518人	2.86枚												
<p>利用券の利用資格について 現在、配偶者姓の場合、実父母と利用しようと思っても、氏を同じくする親となっているため利用することができません。配偶者姓であっても組合員であり、平等であると思うので、できるなら「氏を同じくする」を外すことはできないでしょうか。(「氏を同じくする夫・夫の兄弟など」でも別居しているケースも多く、職場の同僚も「氏」にこだわるのは時代遅れではないかという意見でした。)</p>	<p>家族の利用対象は、①会員の配偶者、②会員又は配偶者の被扶養者、③氏を同じくする親としています。会員の家族構成や生計が様々ななか、同じ掛金率での掛金を財源としていることから、現行の範囲としています。</p>															

意見等	現行制度の説明等
<p>【2 給付事業について】 特別出産補助金 提出書類で、住民票の原本を要求されるが、児童手当用の原本のコピーではダメなのでしょうか。原本を2枚お願いすると職員から必ず質問されます。住民票のコピーを可にしてください。職員の金銭負担軽減のためにもお願いします。</p>	<p>特別出産補助金は、必ずしも児童手当が受給されている方が対象となるとは限らず、また、実際に受給できる方であるかの正確な判断ができない状況があります。添付書類が市町から発行される住民票の証明の原本であったり、コピーであったりすると事務の混乱も招くため、原本を提出いただくこととしています。</p>
<p>入学卒業祝品 「大学へ入学したとき」を新設してほしい。大学がお金が一番かかるので助かります。「高校を卒業したとき」でも良いです。義務教育(現在、小中のみ)なので難しいのかもしれませんが。</p>	<p>高等学校等進学率が100%(令和元年度石川県学校基本統計では99.4%)でないことを踏まえ、高校入学も対象とせず、中学卒業までとしています。</p> <p>なお、大学進学により必要な資金の貸付事業を行っていますので、必要に応じてご活用ください。</p>
<p>死亡弔慰金 厚生事業で記載した内容と同じような考え方です。現在、互助会では「氏」同じくする親が死亡した時となっています。配偶者姓の場合は実父母に弔慰金が出ないので、いつも違和感を感じています。</p> <p>・給付事業は知らない人が多い気がするので、私もモニターになってしみじみ見ました。何かお知らせする方法はないか。</p> <p>・いろいろな給付金があるのは助かります。みなさん、もれなくもらえているのかな、と思います。</p> <p>・事務職員に言われて手続きするぐらいでした。55歳を過ぎると医療補助金などにとっても興味を感じます。</p>	<p>平成21年度から財源不足のため、現在の対象範囲としています。また過去からの運用で、請求の添付書類に戸籍抄本などを要していないことなどから、現行制度となっています。</p> <p>事業の周知については、「3 新規事業について」の(※2)を参照ください。</p>
<p>【3 新規事業について】 互助会事業説明会等 ・事業内容の広報、説明会を充実させることで利用が増え、充実したものとなる可能性がある。(給与から引かれている短期、長期などの意味がわからない人もいます)</p> <p>・ありがとうございます。実施している事業についてはありがたいのですが、どのような制度があるのかを会員に広くわかりやすく周知できるとなおよいのかと思います。給付していただける際には事務員の方からお話しただけたりはするのですが、そうでない(機会がない)とうまく伝わらないので…</p>	<p>これまでも互助会単独の説明会は実施していませんが、互助会事業のお知らせは、スマートスクールネット、互助会のホームページへの掲載のほか、「施設利用券つづり」表紙のQRコードをスマートフォンで読み取ることで、事業のお知らせを閲覧できるようにしており、この中で短期、長期掛金についても掲載しています。また、年4回発行の広報誌「福利いしかわ」にも互助会事業を掲載しており、今後も機会をとらえ、事業の周知に一層努めていきたいと考えています。(※2)</p>
<p>健康を大切に 家族でジムやスポーツ施設を利用した時に、半額補助を設けてほしい。温泉補助に能登がないので、和倉温泉の総湯を入れてほしい。個人的に果物狩りの補助があれば嬉しいです。加賀市フルーツランド等。</p>	<p>現在、いしかわ総合スポーツセンターなどで、ジムなどの利用に対して施設利用券が利用できます。</p> <p>日帰り温泉施設の優待券は、施設が発行するものを斡旋しているため、今後、斡旋できる施設があればお知らせします。</p> <p>施設利用補助については、「1 厚生事業について」の(※1)を参照ください。</p>
<p>終活事業(小さいお葬式を望む人が増えていると思いますので)</p>	<p>多様な会員ニーズがあるため、慎重に検討が必要と考えています。</p>
<p>野外活動のすすめ キャンプをする 森林公園の森林セラピーをする 森林公園でサイクリングをする 今年、屋外で活動することで、少し心が癒されたので、そのような機会があると嬉しいです。</p>	<p>平成26年度までキャンプ施設等を利用した時に補助をするリフレッシュ・ライフ補助があったが、利用者が偏っていることや、1回当たりの補助が高額のため、公平性の観点から宿泊補助の廃止と併せて廃止した経緯も踏まえ、今後、慎重に検討が必要と考えています。(※3)</p>
<p>【4 質問】 昔あった教互預金を作ってほしい。給料引き去りなので知らず知らずのうちに貯まり、利率もよかった。要望です。</p>	<p>平成24年9月まで教育委員会からの委託事業として教互預金(積立預金)を実施していましたが、当時は低金利が続き、将来の見通しが得られず、事業の目的及び効果の優位性が失われたため、事業を終了した経緯があります。</p>
<p>今年度は新型コロナウイルスの影響で、たくさんの事業が中止になったと思います。その分、予算が使われないままになっているのではないかと思います。どのように還元されていくのでしょうか。</p>	<p>今年度は厚生事業の一部で事業の中止及び変更がありました。施設利用では、施設の休業に伴い、施設利用券つづりの配付が6月となりましたので、4月、5月の利用実績がありませんでしたが、上半期では前年同期比で件数、金額ともに7割以上の実績があるなどの動きがありました。美術館や歴史博物館とは変更契約をするなどして、変更後の展覧会に補助するなど柔軟に対応しています。まずは、令和2年度決算でどの程度の影響があるか見極め、今後のあり方は引き続き検討したいと考えています。</p>